

魅力ある授業のために（単元化例） 古典探究 読むこと

1 単元の目標

- (1) 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めることができる。〔知識及び技能〕(1) エ
- (2) 関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。〔思考力、判断力、表現力〕A(1)キ
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。「学びに向かう力、人間性等」

2 指導と評価の計画

科目名	古典探究	学年類型	2年	単位数	4単位	話すこと 聞くこと	
単元名	赤染衛門の人となりと和歌の力について考えてみよう (歌人 赤染衛門)					書くこと	
単元の評価規準							
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。		「読むこと」において、関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。		複数の古典作品から作中人物の人物像を考察し、その特性等を論述する活動を通して、他の文献まで進んで調べたり、今までの学習を生かしてより深く考察したりしようとしている。			
主たる言語活動							
特定の人物を取り上げた複数の古典の作品や文章を読み比べ、その人物の人柄や特性について論述する活動。							
時間	授業のねらい・主たる学習活動			重点項目			評価方法
				知	思	態	
1	3種の作品から赤染衛門の人物像を考察する。			○	○		・記述の点検 (ワークシート)
	①単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 ②6人班をつくり、更に3ペアに分かれて次の1～3の作品を読み取る。 1 『古本説話集』 結婚から尾張国に来るまでの内容。 2 『紫式部日記』 紫式部の赤染衛門評。 3 『今昔物語集』 赤染衛門の詠んだ和歌の力について。 ③読み取ったことをワークシートにまとめる。						
2	多面的・多角的な視点から、赤染衛門の人物像について論述する。 ④ペアごとに得た情報を基に80字程度で赤染衛門という人物について要約する。 ⑤赤染衛門の人物像について、各自の要約文を班で共有しながら話し合う。 ⑥班員の意見を踏まえ、歌人赤染衛門を再考して自分の見解をまとめ、400字程度で論述する。				◎	◎	・記述の分析 (要約文、論述)

	⑦振り返りをする。				
定期考査		◎			

※重点項目について、「◎」は総括の資料とするもの、「○」は、総括の資料とせず、不満足な場合は何らかの指導を行う。

観点	評価A	評価B	評価C
さまざまな古典作品を読んで、赤染衛門の人物像を自分なりに考察する。	赤染衛門の人物像について、複数の資料から読み取ったことを根拠に多面的・多角的に捉え、特に和歌の力についてなど、他の資料なども参考にしながら自分なりの考察を深めている。	赤染衛門の人物像について、資料から読み取ったことを根拠に多面的・多角的に捉え、特に和歌の力について自分なりの考察を深めている。	赤染衛門という人物について、自分の意見を述べている。